



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

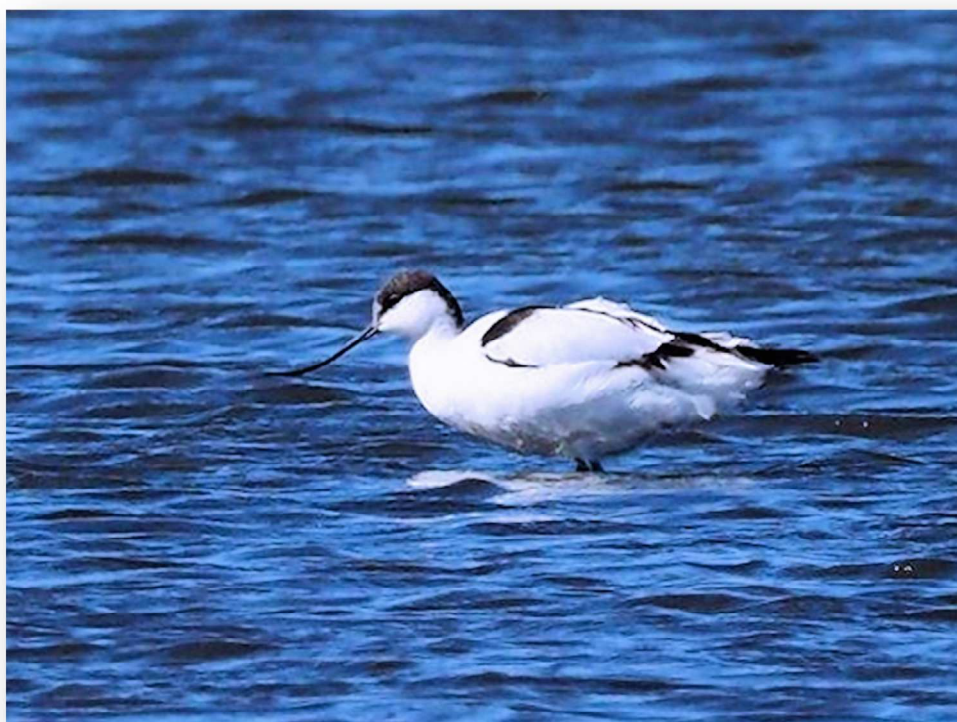
しらこぼと

2021.11-12

No.449

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



2021 年秋 会員から寄せられた「タカとシギ・チドリ類の渡り情報」から

日本野鳥の会埼玉 調査部・IT委員会

● 県内各地のタカの渡り状況

毎年9月中旬に一度、県内2ヶ所で開催していた調査部主催のタカの渡り調査は、諸般の事情により今年度から中止としました。ホームページでのタカの渡り観察情報収集は例年通りに実施しました。ここではホームページに寄せられた観察情報のまとめを報告します。

★ 概況

7月18日から10月4日の間に13ヶ所、117件の情報がありました。結果を図と表に示します。積算個体数は427羽、記録された種類は1科4種、その内訳と個体数はサシバ403羽、ハチクマ19羽、ツミ3羽、他に1ヶ所でハイタカ属不明種1羽が記録されました(表1)。早い時季(7～8月)の記録は蓮田市の西城沼公園とさいたま市西区西新井におけるものでした。

各地の日別の出現数を表2に示しました。最高個体数は9月20日、中間平(寄居町)での87羽でした(サシバ85羽、ハチクマ2羽)。この日は日和田山でもサシバ30羽が観察されました。なお関東全域の状況を見ますと、今シーズン最大のピークは9月27日～29日でした。日本野鳥の会奥多摩支部により28・29日の2日間で約1000羽のサシバが記録された他、東京都八王子市(八王子・日野カワセミ会)、飯能市天覧山(天覧山タカ渡り観察グループ)など数ヶ所で3桁の記録が報告されています(Hawk Migration Network of JAPANによる)。

一方、「例年よりもサシバが少なかった」という声があちこちから聞こえてきました。例年400羽以上が記録されている中間平では今年は372羽に留まりました。蓮田市の黒浜沼周辺で観察を続けている方からも「9月に4回観察したが1羽しか見られなかった。こんなに少ないのは初めて」というメッセージが届いています。黒浜沼周辺に関しては、筆者も毎年タカ観察を続けていますが、この2、3年で周辺の森がずいぶん小さくなったという感触があります。この地域は8月中旬から9月中旬にかけて、まだ本格的な渡りを始める前のサシバが栄養補給や休息をとる場所であると考えられます。大切な休息の場である森が小さくなってしまったのでは、立ち寄るサシバが減少するのも当然のことでしょう。

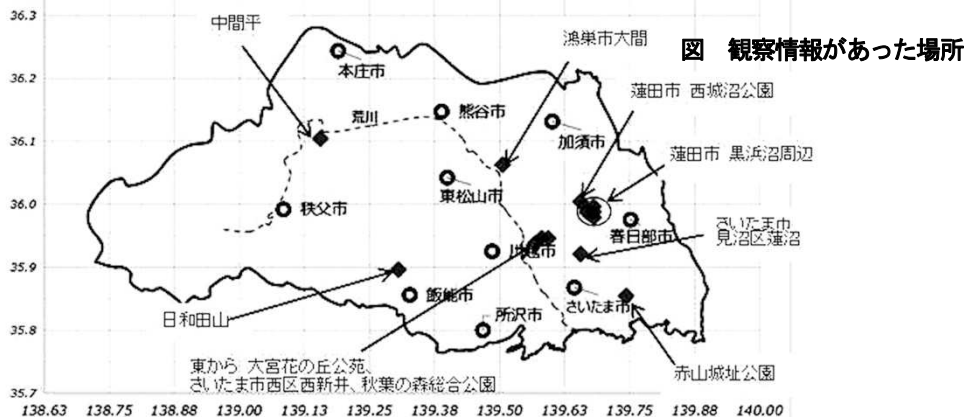


図 観察情報があつた場所

表1 各地で観察された種

観察地	所在地	観察された種
蓮田市 黒浜沼周辺	蓮田市	サシバ
蓮田市 西城沼公園	蓮田市	サシバ
さいたま市見沼区蓮沼		サシバ、ツミ
赤山城跡	川口市	サシバ
大宮花の丘公園	さいたま市西区	ツミ
さいたま市西区西新井		サシバ
秋葉の森総合公園	さいたま市西区	サシバ、オオタカ、ツミ、ハイタカ属不明種
鴻巣市大間		サシバ
日和田山	日高市	サシバ
中間平	寄居町	サシバ、ハチクマ

表2 各地の日別出現数

観 察 地	8月										9月																				10月								
	<16	☆	22	23	☆	28	29	30	31	☆	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	
黒浜沼周辺（＊）									3		18																	1									2		
西城沼公園	5												1							2																			
さいたま市見沼区蓮沼																					2																		
赤山城跡													3								1																		
大宮花の丘公園																																						1	
さいたま市西区西新井	1																																						
秋葉の森総合公園																				3		7																	
鴻巣市大間			1																																				
日和田山																									30														
中間平						8	7				8	4	2	4	4	14		46	26					87	25	2	4	12	4		25	50	6	4		3	1		

8月16日以前の記録はまとめて表示した。

☆: 2日以上連続して情報がなかった期間

※: 黒浜沼周辺の4か所からの情報をまとめて表示した

● 県内各地のシギ・チドリ類の渡り状況

当会ホームページでは、秋の渡りの時季にはシギ・チドリ類についても専用サイトを設け、会員の皆様から観察情報をご提供いただいております。2021年は7月13日～10月16日の間に、23カ所、92件の情報を頂きました。チドリ科5種、シギ科18種、その他3種(セイタカシギ、タマシギ、ツバメチドリ)の計26種が記録されました。結果を表3に示しました。特筆すべきは川越市菅間でコオバシギ1羽が観察されたことです。この種が内陸で観察されるのは珍しいことです。調査へのご協力、誠にありがとうございます。

表3 県内各地で観察されたシギ・チドリ類

観察地	メッシュコード	ムナグロ	イカルチドリ	コチドリ	シロチドリ	オオジシギ	オグロシギ	ツルシギ	アオアシシギ	コアアシシギ	クサシギ	タカブシギ	イソシギ	コオバシギ	トウネン	オジロトウネン	ヒバリシギ	アメリカウズラシギ	ウズラシギ	ハマシギ	エリマシギ	アカエリヒレアシシギ	セイタカシギ	タマシギ	ツバメチドリ	種数
春日部市倉常(1)	5439-0622	○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○				12
春日部市倉常(2)	5439-0623			○					○	○	○	○	○									○	○			6
春日部市武里中野	5339-7640	○				○																				2
春日部市一ノ割	5339-7651			○												○										2
加須市中種足	5439-0485											○														1
川越市下久戸	5339-6473	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○				○		○			○		○		14
川越市伊佐沼	5339-7411		○	○					○			○	○			○						○				6
川越市菅間	5339-7339			○										○			○					○				4
川島町紫竹	5339-7978								○			○														2
行田市須加	5439-2319	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	21
行田市斎条	5439-2306	○		○		○					○						○								○	6
熊谷市奈良新田	5439-2239								○	○					○							○				4
越谷市南荻島	5339-6680											○														1
越谷市砂原	5339-6690			○							○		○													3
さいたま市西区ニツ宮	5339-6475	○							○																	2
さいたま市桜区昭和	5339-6456	○					○						○													3
さいたま市南区大谷口	5339-6525												○													1
さいたま市見沼区勝子	5339-7505			○											○											2
さいたま市緑区上野田	5339-6595						○																			1
幸手市神尾	5439-0579			○									○													2
杉戸町大字才羽(1)	5439-0621	○		○																						2
杉戸町大字才羽(2)	5439-0631	○																								1
蓮田市大字黒浜	5339-7574			○			○			○			○										○		○	6

<謝辞>

タカ及びシギ・チドリ類の渡りにつきまして、以下の皆様からホームページ専用サイト等へ情報をご提供いただきました(五十音順、敬称略)。調査部、IT委員会一同、心より御礼申し上げます。

◎タカの渡り情報: 浅見 徹、榎本秀和、神田敏夫、小林みどり、嶋田富夫、田中幸男、千島康幸、中橋由美子、長嶋宏之、仲川真道

◎シギ・チドリ類の渡り情報: 石川敏男、今村富士子、大井智弘、大谷泰久、小林寧子、小林みどり、佐野和宏、佐藤千砂、鈴木 功、星野紫乃、山部直喜

(調査部 小林みどり、IT委員会 佐野和宏)

●シロエリオオハム

英名 Pacific Loon

学名 *Gavia pacifica*

分類 アビ目アビ科アビ属

2021年の初夏から7月にかけて、シロエリオオハム夏羽個体の飛来の報が相次いだので報告します。

まず、嶋田富夫会員から、飯能市の名栗湖(有間ダム)



で、5月29

日に撮影された1羽の写真(上)が寄せられました。姿を見せたのは撮影の1週間ほど前とのことで、ほどなく飛び去ったようです。

次いで、6月初め頃、彩湖のさいたま市南区側の水域で、夏羽2羽と第1回冬羽1羽の

計3羽の飛来が確認されました。この3羽は、その後も



長く同所付近に居つき、多くの人たちに観察・撮影された模様です。上写真は、金井祐二会員が6月5日に撮影したものです。

終認は不明ですが、海老原美夫会員によれば、夏羽1羽に限っては7月17日まで確認している、ということです(8月28日付け読売新聞埼玉県版参照)。

海の鳥であるシロエリオオハムが、埼玉県内で観察されたことはこれまでもありましたが、今回の2例のように、きれいな夏羽での記録は過去にはありません。当委員会は、極めて珍しい事例と判断し、発表することになりました。

2022 年日本野鳥の会カレンダーの取り扱いについて 事業部

今年も来年度の日本野鳥の会のカレンダーを斡旋する時期となりました。しかし、昨年来の新型コロナにより予約制でのみ採鳥会を実施している状況を鑑み、今年度もカレンダーの取り扱いは行わないことと致しました。

日本野鳥の会からは2022年も例年と同じく3種類のカレンダーが発売されます。購入して頂くことにより日本野鳥の会の自然保護活動に寄与できます。是非ともご購入の検討をお願い致します(価格はいずれも税込み価格)。

- ・ワイルドバード・カレンダー2022 : 1,540 円 日本野鳥の会会員価格 1,320 円
- ・しあわせことりカレンダー2022 : 1,100 円
- ・卓上カレンダー バーズ・イン・シーズンズ 2022 : 1,100 円

【購入方法】

- ① 日本野鳥の会通販カタログから FAX または NET のオンラインショップ: ワイルドバード・カレンダーは会員価格で購入可。送料 710 円(何本購入しても送料は 710 円なのでご友人との共同購入がお勧め)。
- ② 東京港野鳥公園などの日本野鳥の会サンクチュアリ: 会員価格での販売あり。
- ③ 一般書店: 最寄りの書店から「地方・小出版流通センター」経由で取り寄せ可能(但し価格は 1,540 円の一般価格)。
- ④ 東急ハンズ大宮店: 一般価格で販売。
- ⑤ AMAZON、楽天などネット通販: 一般価格での購入ができますと思われる。送料に注意。

令和1・2年度決算のご報告

事務局担当副代表 海老原美夫

当会規約第17条(総会の議決事項)により、予算・決算は総会の承認を得ることと定められていますが、新型コロナ禍の影響で総会を開催できず、令和1・2年度は総会の承認がない暫定予算で業務を続けざるを得ず、更に、今後も近日中の総会開催が見込めないことから、役員会の承認を得て、総会の承認がない段階での令和1・2年度決算をご報告することになりました。

それぞれの決算については、令和1年度決算は楠見邦博監事と青木正俊監事が、令和2年度決算は青木正俊監事と榎本秀和監事が、「規約第11条第4項により適正に処理された」ことを認め、それぞれ監査報告書を提出しました。(監事の交代については、このページで引き続きご報告します。)

当会を支えるのは基本的に会費収入であり、その会費と探鳥会参加費・事業部売上金等の収入減少と、事業部会計から一般会計への支出増加が明らかな問題点です。

一方、『しらこぼと』発行回数半減は、今後の決算では、ある程度支出減少の反映があるかもしれません。

運営準備積立金とは、会員の増加が続いていた平成10年度に、それまで事業部会計の期末繰越金をそのままにして、将来の万一の場合や自然保護活動などのための資金とすると説明されていましたが、その性格をより明らかにするために、その部分を、会の将来の運営に関する準備積立金という別項目にして、明確に位置づけたものです(本誌1998年8月号から)。前にもご報告しましたが、現状では、それを取り崩す事態は当分の間避けられます。

私たちは、これからも野鳥たちと共に生きる世界に親しみ、見守り続けます。

監事の交代について

令和1年度収支決算書を承認する旨の監査報告を令和2年5月31日付でお送りいただいた楠見邦博監事から、高齢ゆえに監事を退任するとの意向が示されました。1989年以来31年間にわたり監事を務めていただきました。

青木正俊監事は、2014年に就任以来継続中です。

榎本秀和監事は1996年から1年間監事を務めました。翌年普及部長就任のため監事退任されたことがあります。今回役員会で互選の結果、24年ぶりの監事復帰となりました。

日本野鳥の会埼玉 令和1年度・令和2年度決算 収入の部

	項 目	令和1年度決算	令和2年度決算
一般会計	期首繰越金	640,591	502,977
	会費	2,401,850	2,178,650
	寄付金	18,321	0
	探鳥会参加費	447,093	4,280
	雑収入	31,831	19,716
	仮払金清算	1,724	0
	県補助金	200,000	200,000
	事業部会計から入金	300,000	560,000
	一般会計合計	4,041,410	3,465,623
事業部会計	期首繰越金	1,525,312	1,327,633
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	寄付金	0	0
	事業部売上金	549,359	2,040
	事業部雑収入	17,576	11,886
	事業部会計合計	7,092,247	6,341,559
総合計		11,133,657	9,807,182

支出の部

	項 目	令和1年度決算	令和2年度決算
一般会計	会報印刷費	1,094,796	1,078,110
	会報発送料	766,128	751,408
	家賃	984,000	984,000
	通信費	243,145	124,399
	雑費	89,487	77,912
	水道光熱費	64,801	53,478
	什器備品費	1,088	0
	消耗品費	14,819	9,050
	印刷コピー代	70,929	92,664
	総務部費用	59,240	5,152
	普及部費用	118,021	0
	編集部費用	19,702	0
	調査部費用	6,848	0
	予備費	0	0
	仮払金	5,429	0
	期末繰越金	502,977	289,450
	一般会計合計	4,041,410	3,465,623
事業部会計	事業部仕入れ金	462,746	1,232
	雑費	1,868	0
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	一般会計へ支出	300,000	560,000
	期末繰越金	1,327,633	780,327
	事業部会計合計	7,092,247	6,341,559
総合計		11,133,657	9,807,182

和光市・イソヒヨドリ繁殖 川内 博(和光市)

和光市では、今年イソヒヨドリが2か所繁殖したと思われます。

1か所目は確実に、東京北部郵便局（和光市新倉5丁目）で、営巣場所（建物3階の柱の中）・巣立ち雛（1羽以上・写真）も確認できました。

観察は5月20日～6月12日の間で、その間に♂♀による餌運び・糞の持ち出し・巣立ち雛への給餌などを記録しました。

同地では2019年5月に囀りを聞いています。

もう1か所は、和光市駅南（和光市丸山台1丁目）で、2019年にイトーヨーカドー4階の駐車場で巣立ち雛1羽を記録・撮影し、その後も繁殖期に記録し、今年も6月末に巣立った若鳥と思われる個体を観察しました。ただし、営巣場所等はわかりませんでした。



蓮田市・イソヒヨドリ繁殖 中村直矢・保貴(蓮田市)

4月20日、蓮田駅東口で見かけない鳥にであつた。家に帰って図鑑で調べたら、イソヒヨドリだった。

6月12日、蓮田駅東口の「鳥貴族」という店が入っているビルの上の方のダクトから、声がするので見たら、繁殖していた。親が餌を運ぶとき、3羽のヒナの嘴が見えた。

6月15日、親は虫やミミズと思われる餌を頻繁に運んでいた。♂親は、見えていても巣に入るが、♀親は入らなかった。

6月21日、声が聞こえなくなったので、巣立ったようだ。

6月末、蓮田駅東口でイソヒヨドリ成鳥♂を見た。

カイツブリの営巣 大塚純子(さいたま市)

5月25日、さいたま市大宮区の大宮公園ボート池で抱卵中のカイツブリ夫婦を家族が動画撮影してきて見せてくれました。

岸から2m位の所に小枝で組まれ、枯れ葉や緑のつる草があしらわれた浮巣は一体どうやって構築されたのか。流されもせず、親鳥が乗り降りしてもビクともせず。抱卵交代時、巣の中には白く輝く6卵が。巣に上がったカイツブリは、近くでカラスが「カアカア」鳴く中、体を揺すって卵をしかと抱き込んだ。

梅首鷄(ばいしゅけい?) 榎本秀和(鴻巣市)

江戸時代、諸大名にとって、将軍から鷹狩の獲物を下賜されることは大きな栄誉であつた。獲物の分配を受けるのは特定の大名に限られたから、そのこと自体が大名の家格の高低を表すものであつたといつてよいだろう。

それでは、鷹狩の獲物にはどんなものがあったのだろうか。さまざまな野鳥が獲物になり得たであろうが、なかでも鶴と雁は最上等の獲物だつたようだ。将軍から鶴や雁を賜った場合は、特に「拝領」の語が用いられて区別される。「種」としては、鶴はタンチョウかな、雁はマガンやカリガネでは。おっと、これはあくまで筆者の想像だが。

さて先日、ある大名文書（もんじょ）を読んでいた。「(将軍より) 御鷹の梅首鷄雲雀鶴等を恩賜あり」という文言に遭遇した。雲雀や鶴はわかるが「梅首鷄」とは何だ? 「ばいしゅけい」と読むのか? いろいろ調べてみたら、なんと「梅首鷄」とはバンのことだった。

鷹狩でバンなんかも捕っていたことだ。鷹狩の獲物は食材として頂戴するわけだけれど、バンは見た目はともかく、味はなかなかのものだったらしい。なんせ恩賜の記録に残るくらいだから。つい最近知ったことだが、江戸時代、「三鳥二魚」なる五大珍味があつたそう。三鳥とはツル・ヒバリ・バン、二魚とはタイ・アンコウ。そうか、やっぱりバンはうまいんだ。



野鳥情報

桶川市舎人新田 ◇3月4日午前10時40分、オオジュリン♂1。胸元の黒が印象的。この田んぼ沿いのヨシ原は夏季にヨシキリをよく見るところ（小貫正徳・とみ子）。

さいたま市岩槻区野孫(53396589) ◇3月7日、キジバト、ケリ、チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイなど（嶋田富夫）。

さいたま市緑区南部領辻 トラスト1号地周辺
◇3月7日、スズメ、ヒヨドリ、カイツブリ、モズ、ヤマガラ、シジュウカラ、アオジ、カケス、ホオジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コゲラ、シロハラ、エナガ、ツグミ、カワラヒワ、ムクドリ、ジョウビタキ、ウグイス、キジ、キジバト、シメ、オオタカ、カルガモ、カワセミ、「チィー」と鳴く鳥がいて確認するとビンズイだった。4月11日、カルガモ、ツグミ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、ヒヨドリ、アオサギ、カワラヒワ、キジ、ムクドリ、ホオジロ、カシラダカ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、キジバト、ウグイス、オオタカ、ヤマガラ、カケス、ツバメ、コゲラ、アオジ、モズ、ダイサギ、シメ、ハクセキレイ（村越百合子）。

越谷市 越谷レイクタウン ◇3月7日、カンムリカイツブリ夏羽1、ミサゴ1、ヒレンジャク♂1（下写真）。3月20日、カンムリカイツブリ夏羽1、アリスイ2、ヒレンジャク♂1、ベニマシコ♂1♀1。ヒレンジャクは当地初記録だった（鈴木 功）。



北本市 北本自然観察公園 ◇3月9日午前11時50分、桜堤北の竹林よりウグイス初音。午後12時40分、一夜堤の横でミソサザイ1（小貫正徳・とみ子）。◇4月12日、鳥の種類も数も少なく感じたのは、午後だったからだろうか？ ウグイスが綺麗な声で鳴いていた。キジ2、カルガモ2、コガモ17、カイツブリ1、キジバト1、アオサギ1、コゲラ4、カケス1、ハシブトガラス3、ヤマガラ1、シジュウカラ3、ヒヨドリ1、ウグイス3、エナガ5、メジロ1、ツグミ1、スズメ2、ガビチョウ1（長嶋宏之）。

さいたま市北区日進町(53397427) ◇3月10日、オカヨシガモ、カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、コサギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ミソサザイ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ（嶋田富夫）。

蓮田市貝塚 山ノ神沼 ◇3月11日、2羽のカワセミが水面を切り、牧場跡地ではハクセキレイとツグミが並んで採餌。空ではヒバリが囀る散歩日和の日でした。他にキジ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、オオバン、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリなど（長嶋宏之）。

鴻巣市大間一丁目 ◇3月16日午後1時20分頃、ツバメが4羽、電線に並んでしきりに鳴く。今季初認（榎本秀和）。◇我が家から今年は6羽のツバメが巣立ちました。3月17日、初飛来。4月29日、営巣開始。6月17日、4羽巣立ち。6月18日、残りの2羽も巣立ち。～ツバメの子かまびすかりし今いずこ～（中村圭子）。

さいたま市中央区 与野公園 ◇3月18日、池の端でモズ♂1。3月22日、三分咲きのソメイヨシノにメジロ10+が訪れ、近くのケヤキの幹のまたにある雨水溜りに寄り道などしながら、池周囲の常緑の木立へと流れて行った（大塚純子）。

上尾市地頭方～堤崎 ◇3月18日、スズメ、メジロ、シジュウカラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、オナガ、ヒヨドリ、ハク

セキレイ、セグロセキレイ、ツミ、ジョウビタキ、ツグミ、ムクドリ、モズ、カワラヒワ、キジ、キジバト、ホオジロ、ヒバリ、タヒバリ、シロハラ、上空にカウウ、ウグイス。ツバメ、今季初認。昨年7月頃から複雑な鳴き方をする鳥の声が聞こえ、しばらく様子を見ることに。本日散歩の際、「ピィピィ、ピューピュー」と囀り、姿を見せてくれたのはカオグロガビチョウだった。当地初確認。堤崎周辺でカワセミ2、クイナ、カルガモ、アオサギ（村越百合子）。

さいたま市大宮区 ◇3月19日早朝、JR大宮駅から500m以内のコンビニ付近でイソヒヨドリ♂1。近年は都会でも見られるという情報は聞きますが、1～2週間前くらいには観察した場所付近でこの個体と同じかはわかりませんが、さえずりも聞きました（平井奈緒子）。

草加市柿木町 ◇3月20日、オオタカ成鳥1、ベニマシコ♀1、ホオアカ1（鈴木 功）。

戸田市 道満釣り堀公園 ◇3月22日、コガモ1番い、カルガモ2番い、ゴイサギ4、シジュウカラ、オナガ2、ハシボソガラス（陶山和良）。

さいたま市桜区堤外 ◇3月22日、荒川彩湖公園のカマキリ公園のハンノキが10本ほど並ぶ芝生でイカル40、シメ10。ツグミ、タヒバリ、カワラヒワ、ハクセキレイ、ムクドリ。ハンノキにヒレンジャク4、ヒヨドリ。彩湖北端でキンクロハジロ100。ハシビロガモ1番い、マガモ♂1♀2。ハシビロガモとマガモの対比ができ満足。カンムリカイツブリ夏羽、カウウ35、ダイサギ2。ツバメ15、今期初認（陶山和良）。

所沢市山口 ◇3月24日、ツバメ初認（小林 茂・ますみ）。

蓮田市 西城沼公園とその周辺 ◇3月25日、メジロ15+が桜の花の間を枝移り。3月30日、ヒヨドリ12が北に向かって飛んで行った。ツバメ2が上空を気持ちよさそうに飛び回っていた。他にこの場所で3月に観察した野鳥はキジバト、カウウ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、コゲラ、モズ、カケス、オナガ、ハシブトガラス、ヤマガラ、ムク

ドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、アオジなど。4月1日午前7時、ヒヨドリ10と12の二つの群れが北に向かった。4月7日午前11時、ヒヨドリ13が北に向かった。オオタカがカラスに追尾されて南に飛んだ。大きさからみと思われる。4月15日午前6時30分、ヒヨドリ10が北に向かった。4月17日、ツグミ7が芝生で採餌。ハシボソガラスが抱卵中。コジュケイが鳴いた。シメ2が梢でジッと周囲を見ていた。今季ここでの終認。カケス2が屋敷林に入った。今季ここでの終認。シロハラが落ち葉を反していた。今季ここでの終認。4月20日午前9時、ヒヨドリ9が北に向かった。今年の群れはどれも小さい。4月26日、ツグミ1が梢でじっとしていた（今季ここでの終認）。他にカルガモ3、キジバト5±、ダイサギ1、コサギ1、コゲラ1、オナガ9、ハシブトガラス7、シジュウカラ7、ツバメ2、メジロ4、ムクドリ23、スズメ15、ハクセキレイ2、カワラヒワ2など（長嶋宏之）。

さいたま市中央区八王寺5丁目 ◇3月26日、かやのき団地8号棟庭でジョウビタキ♀1が「ヒッヒッ」と鳴く。カワラヒワ1、電線で囀る。ヒヨドリがレンギョウの花をパクパク。他にシジュウカラ4。3月27日、庭のレンギョウの下でツグミ1がぐずる。団地内公園のクスノキでメジロ囀る。4月16日、かやのき団地8号棟庭でツミ♀1が地べたにムクドリを踏まえて立つ。周りでオナガ10+が激しく鳴き立て、飛び交う。そこへハシブトガラス1が飛来すると、ツミは獲物を掴んでオナガ共々飛び去った（大塚純子）。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園 ◇3月26日、ツバメ2、元荒川上流へ飛翔。中州にコチドリ5。4月7日、カウウ、セグロカモメ、コチドリ、イソシギ、カイツブリ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ♂、アメリカヒドリ♂、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ヒクイナ（声）、ハシボソガラス、カケス、オナガ（声）、ウグイス（声）、ツグミ、シロハラ、ツバメ、スズ

メ、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、モズ、ムクドリ、エナガ、ハクセキレイ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、マヒワ。ヒクイナはもう2ヶ月以上前からいるとのこと。4月18日、ヒクイナの声。4月25日、キビタキが鳴いている。オオタカがハシボソガラスにモビングされて上空通過。ヤマガラ（鈴木紀雄）。

上尾市地頭方 ◇3月27日、スズメ、ムクドリ、メジロ、シジュウカラ、モズ、キジバト、キジ、オナガ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシボソガラス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ツグミ、ホオジロ、ジョウビタキ、ヒヨドリ、コジュケイ、カケス、ヒバリ、カルガモ、アオジ、ツバメ5、ウグイスがあちこちで鳴き、休耕田にコチドリ4、今季初認（村越百合子）。

越谷市千間台の新方川（せんげん堀） ◇3月28日、ヒクイナ1（下写真）（鈴木 功）。



さいたま市見沼区膝子 ◇3月29日、ノスリ1（白っぽい個体）。コチドリ2。ホオアカ1が囀る。近くに他のホオアカ2。セッカが「チャッ チャッ」を始める。3月30日、ノスリ1、ホオアカ2。1m程の丈の草原の中から「ジュビッジュルルル…」のウズラの声。別の所でも刈田から声。♀の姿を確認。4月2日、3ヶ所でホオアカ計6羽。畔で「ジュビッジュルルル…」と鳴くウズラ♂を確認。移動時は姿勢を低くして草の中をコソコソと移動。4月5日、ここでは珍しいトビ1。ヒバリ、ホオジロ、セッカの囀り。ウズラの声がするも姿なし。4月7日、ノスリ2。1羽はハシボソガラス2にモビングされていた。チョウゲンボウ♂1、狩りに失敗。ホオアカ3、ウズラ

（声）、オオジュリンなど。4月9日、ノスリ1、近くのカラス騒がず。ホオアカ5（1羽は囀る）、ウズラの鳴き声。4月13日、ホオアカ3、ウズラが2ヶ所で鳴いている。4月15日、ノスリ1、キジ♂♀ペア、ウズラの声1回のみ。鳥ではないが、12月以来のホンドギツネ。4月16日、ノスリ2、ホオアカ、ウズラの声、（ホンドギツネ）。4月17日、ウズラ♂1が20cm程の草丈のスズメノテッポウの中を動き回り採餌。スズメノテッポウをつついてはいるが、何を食べているかは不明。タシギ1。4月20日、アオジ♂が灌木で囀り。カケス10の群れ、北へ。ノスリ1、タヒバリ（夏羽）、ヒバリ、キジ、ホオジロ、セッカ、ツグミ、モズ、カワラヒワなど。コジュケイ、ウズラの声。ヒヨドリ10～40の群れ、3群飛んで行く。4月21日、ウズラの声、（ホンドギツネ）。4月23日、ノスリ1。ウズラの声がなくなる（終認4月21日）。4月26日、ノスリ1（終認）。ホオアカ1（終認）。コチドリが「ピウ、ピウ」と鳴きながら飛び回る（鈴木紀雄）。◇4月18日、キジ♂♀、♂は♀につかず離れずに移動し、時々ホロ打ちをする。突然、2羽の♂が西の方から低空で飛来。こちらからは見えない場所に着地。♂はすぐに気がつき、胸を張って♂たちが降りた方向に小走りで行かう。間もなく1羽の♂が元来た方向に飛び去る。もう1羽は不明。モズのペアが常緑の立木の中で鳴きかわしていた。木の中で移動しているのが見えた。ノスリ1がカラスに追われて飛び去る。南の方からサシバ1飛来。真上でUターンし、南に飛び去る。他にツグミ、ツバメ、セッカ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ヒバリ、カルガモなど（藤原寛治）。

さいたま市の鴨川 ◇4月1日、島根橋近くの岸辺でオオタカ若鳥1（上面褐色、下面に縦斑）が食事。獲物はコサギで、川面を白い羽が漂い流れる。真向いの中州にハクセキレイ2。4月6日、下流学校橋の袂でモズのペア。昆虫やカエルを捕えてきては、茂みの中へ出入り。モズ観察中に頭上をオオタカ若鳥1がハシボソガラス3に追われ

て通過。電線に並んでいたムクドリ10+が驚いて一斉に飛び立つ。他にツバメ、ハクセキレイなど（大塚純子）。

上尾市地頭方～平方領領家 ◇4月4日、スズメ、メジロ、シジュウカラ、ムクドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、オナガ、エナガ、ウグイス、モズ、ホオジロ、カシラダカ、カケス、シメ、ガビチョウ、イソシギ、カルガモ5、コジュケイ3、コチドリ4、ヒバリ8、ツバメ10、ツグミ10、カワラヒワ22、ヒヨドリ25、キジ♂4♀3、カオグロガビチョウ。梨畑に聞いた事の無い声がするので見るとマヒワ7、初確認（村越百合子）。

久喜市菖蒲町下栢間 ◇4月4日午前11時50分、ツバメ1。住宅地と畑の境界。電線上にとまる。今季初認。今年はいろいろな花が一斉に咲いている（小貫正徳・とみ子）。

さいたま市岩槻区南辻 ◇4月5日、遊水池の州にいるヒドリガモ50の中にヨシガモ♂2、アメリカヒドリ♂1。他にコチドリ2、コガモ3（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区掛 ◇4月7日、コチドリ2、セグロセキレイ1。4月24日、水の入り始めた田にダイサギ、チュウサギ、コサギ各1、ムナグロ数羽。4月29日、田んぼにムナグロ8、降りてしまうとなかなか見つからない（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区平林寺 赤坂沼 ◇4月7日、オオジュリン、ホオジロ、ウグイス、キジバト、カケス、アオジ、カワラヒワ、ツバメ、シジュウカラ、ツグミ、ムクドリ、キジ（声）。奥の森からオオタカの声（鈴木紀雄）。

蓮田市黒浜 ◇4月7日、上沼周辺でコガモ30、オオバン10、カイツブリ3、カワセミ2が追いかけ合い（鈴木紀雄）。

飯能市前ヶ貫 ◇4月8日と10日の夜、自宅の近くでミゾゴイの鳴き声を聞く。大蓮寺付近の林で鳴いていた（岡登伸一）。

J R高崎線 鴻巣駅東口 ◇4月11日午前11時頃、イソヒヨドリ♂が1羽、桜の枝にとまってさえずっていた（榎本菜摘野）。

さいたま市西区 大宮花の丘農林公苑 ◇4

月11日、春の渡り、サシバを観察（下写真）。他にキジ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオタカ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、シメ、ホオジロ、アオジ（嶋田富夫）。



春日部市倉常 ◇4月24日、顔と下面がほぼ真っ白の小鳥が畔に。ユキホオジロか！？とビックリ仰天。よく確かめたらヒバリの部分白化個体。ほんと驚いた（鈴木紀雄）。

桶川市五丁台 ◇4月25日午前11時、元荒川大御堂橋下流でオオヨシキリ1。今シーズン初音（小貫正徳・とみ子）。

所沢市上山口 堀口天満天神社周辺里山保全地域 ◇4月27日、キビタキ初認。4月28日、クロツグミの囀りを聞く。ビンズイ5（小林 茂・ますみ）。

さいたま市緑区上野田 ◇4月28日、ヨシ原から「ギョギョシ」とオオヨシキリの声。林からはキビタキの声。上空からサンショウクイの「ピリリ…」の声（鈴木紀雄）。

所沢市松葉町 ◇4月30日午後、新所沢駅東口近くの3階建てビルにイソヒヨドリ♂1。囀りに誘われて見上げると、屋上近くに巡らされた配管にとまって鳴いていた。3～4年前に駅の反対側西口で観察したことがある（石光 章）。

表紙の写真

セイタカシギ科ソリハシセイタカシギ

10月20日（水）群馬県多々良沼で、28年前千葉県谷津干潟以来の出会い。西風が強かった。

藤原寛治（さいたま市）



来年1月から2月に開催予定の探鳥会と、その他の行事のご案内です。探鳥会は全て事前予約制です。

【事前予約制探鳥会の開催要項】

1. 日本野鳥の会会員限定の先着順（ただし、埼玉会員優先）とする。
2. **申し込みは、当会のホームページから**とする（原則として開催日の4週間前から、ホームページで受け付けを開始）。**予約なしでの参加はご遠慮ください。**
3. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」（最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」から閲覧できます）に沿って実施する。
4. **必須条件：**マスクまたはフェイスシールドなどの飛沫防止策（ご用意のない方は参加をご遠慮ください）。
5. 筆記用具や観察用具（双眼鏡等）は、各自で用意する。
6. 万一、探鳥会開催後に参加者から新型コロナウイルス感染者が出た場合には、参加者名簿を保健所に提出する。
7. **新型コロナウイルスの感染拡大が続いている場合は、探鳥会を中止する事があります。最新情報をホームページで確認してから参加してください。**

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月4日（火）平日 要予約

集合：午前10時10分、さぎ山記念公園芝生広場。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：大宮駅東口⑦番バス乗り場9:30発「浦和学院高校」行き、または東浦和駅③番バス乗り場9:38発「さいたま東営業所」行きで、「さぎ山記念公園」下車。

募集人数：20名

担当：大井、浅見（健）、浅見（徹）、小林（み）
見どころ：さぎ山記念公園から見沼代用水東縁沿い、畑を抜け見沼自然公園の池周辺を歩きます。7種のカモ類に会えるカモ（笑）。

久喜市・久喜菖蒲公園探鳥会

期日：1月6日（木）平日 要予約

集合：午前9時、久喜菖蒲公園駐車場。

解散：正午ころ、園内で。

交通：JR宇都宮線久喜駅西口から大和観光バス1-1（久喜菖蒲工業団地循環）管理センター行き8:16発で、「久喜菖蒲公園」下車、徒歩約2分。

募集人数：15名

担当：長嶋、石川（敏）、植平、佐藤（宏）、中川、吉原（俊）、吉原（早）

見どころ：公園内で7～8種のカモや亜種ダイサギ等の水辺の鳥を楽しめます。林では数年前、アトリが沢山見られました。

その他：集合時間と交通が変わりました。バス停からの案内は致しません。帰りは下車したバス停から12時29分発。

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：1月8日（土）要予約

集合：午前9時30分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。注：JR船橋駅での受付はしません。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：JR武蔵野線 南浦和7:44→西船橋で総武線8:37に乘換え、船橋8:40着。京成バス9:00発 船橋海浜公園行きに乗車し、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。リーダーが案内します。

募集人数：20名

担当：菱沼（一）、浅見（徹）、佐久間、佐野、杉本、菱沼（洋）

見どころ：コロナで2年ぶりの開催。海辺で風通しの良い場所なので、定員は少し多めに設定。コロナに関係ない鳥の世界、今年もきっとミヤコドリに会えるでしょう。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：1月10日（月・祝）要予約

集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り

場から春日部エミナース行き 8:41 発で、
「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約 7 分。
募集人数：20 名
担当：石川(敏)、青山(美)、佐藤(宏)、佐野、長野、橋口
見どころ：雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林などを巡りながら、小鳥中心に探鳥します。
帰りのバス：下車バス停の反対車線のバス停 発 13:07、14:47 (10 月現在の時刻表による)。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：1 月 15 日 (土) 要予約
集合：午前 8 時 15 分、東武日光線 柳生駅前。または午前 8 時 45 分、中央エントランス駐車場。
解散：11 時 30 分ころ、中央エントランス駐車場で。
交通：東武線南栗橋行 新越谷 7:23→春日部 7:38→南栗橋 7:55 で東武日光線に乗り換え柳生 8:10 着。または JR 宇都宮線下り大宮 7:27→栗橋 7:55 で東武日光線に乗り換え柳生 8:10 着。
募集人数：20 名
担当：佐野、浅見(徹)、植平、小林(み)、佐藤(宏)
見どころ：谷中湖でカモや猛禽、周辺で冬の小鳥を探します。寒さ対策は万全に。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：1 月 16 日 (日) 要予約
集合：午前 9 時、さいたま市立浦和博物館。
解散：正午前に集合地で。
交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから東武バス「さいたま市立病院行」8:21 発で終点下車。
募集人数：20 名
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：浅見(徹)、青木、浅見(健)、小林(み)、須崎、畠山
見どころ：芝川でカモ類、農耕地でホオジロ類を探します。カワセミ、キジ、オオタカ、チョウゲンボウにも期待！

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：1 月 20 日 (木) 平日 要予約
集合：午前 9 時、羽生水郷公園水族館前休憩舎。
解散：正午前に集合地で。
交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ル

ート (ムジナもん号) を利用、東武伊勢崎線羽生駅東口 8:04 発→南羽生駅 8:21 発→「キヤッセ羽生・水郷公園」下車、県道を渡り公園へ。

募集人数：20 名
担当：相原(修)、相原(友)、新井、長嶋、茂木
共催：羽生水郷公園管理事務所
見どころ：平日の静かな公園、池ではヨシガモなど繁殖羽のカモが、ヨシ原ではオオジュリン、ベニマシコなどの小鳥が出迎え、上空を猛禽が飛ぶかも。
注意：帰りのバスは 14:50 発です。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1 月 23 日 (日) 要予約
集合：午前 9 時、西武新宿線 狭山市駅西口。
解散：正午ころ、稲荷山公園で。
交通：西武新宿線 本川越 8:43 発、または所沢 8:41 発に乗車。
募集人数：20 名
担当：長谷部、石光、佐藤(久)、島崎、山口、山本(真)
見どころ：鳥の種類が多い季節。身近でもいろいろな鳥に会えます。例えばイソヒヨドリ。埼玉でも見られます。運が良ければ。

さいたま市・大宮市民の森探鳥会

期日：1 月 29 日 (土) 要予約
集合：午前 9 時、JR 宇都宮線 土呂駅東口。または午前 9 時 20 分、市民の森入口前 (土呂駅東口から徒歩約 5 分)。
解散：正午ころ、市民の森入口付近で。
募集人数：20 名
担当：青木、浅見(徹)、小林(み)、近藤、山田他
見どころ：見沼たんぼの探鳥会では一番北側。駅から徒歩で現地へ行けます。初心者には担当を付けますので安心して来てください。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：1 月 30 日 (日) 要予約
集合：午前 9 時 30 分、西武狭山線 西武球場前駅前。
解散：正午ころ、狭山湖堤防付近で。
募集人数：20 名
担当：石光、小林(ま)、佐藤(久)、長谷部、持丸
見どころ：狭山湖のトップシーズン。カイツブリ類、カモ類にルリビタキ等の小鳥達の元気

な姿が、寒さを忘れさせてくれるでしょう。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：2月6日（日） 要予約

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園事務所付近、念仏橋バス停前。

解散：正午ころ、集合地で。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

募集人数：20 名

担当：大井、伊藤、須崎、手塚、野口、藤田
見どころ：芝川第一調節池で探鳥。カモ類、チュウビなどの猛禽類、そして白鳥。すぐ近くには小鳥たち。芝川沿いではカワセミ、ベニマシコ。

ご注意：コースの途中にトイレはありません。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月6日（日） 要予約

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス 8:38 発で「自然観察公園前」下車。

募集人数：20 名

担当：吉原(俊)、相原(修)、秋葉、浅見(徹)、近藤、千葉、吉原(早)

見どころ：ジョウビタキ、ルリビタキ、カシラダカ、アオジなど冬の小鳥を間近に見られます。ベニマシコにも期待。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：2月10日（木）平日 要予約

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

解散：正午ころ、現地で。

交通：東武伊勢崎線 春日部 8:16→久喜 8:29→花崎 8:36。または JR 宇都宮線 大宮 7:53→久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。

募集人数：15 名（+公園側募集 5 名）

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、相原(友)、石川(敏)、植平、千葉、茂木

見どころ：青毛堀川から園内を歩き、ツグミ、シメ、カワラヒワ等を探します。園内では

沢山のヒドリガモ、空には嬉しい出会も。

さいたま市・秋葉の森総合公園探鳥会

期日：2月13日（日） 要予約

集合：午前9時30分、公園内管理棟付近。

解散：11時30分、集合地で。

交通：西大宮駅バス乗り場から西大02わくわ

くランド行き9:02発で「秋葉入口」下車、

または、大宮駅西口⑧番バス乗り場から大

62リハビリセンター行き8:50発で「秋葉入口」下車、徒歩約15分。

募集人数：20 名

担当：近藤、浅見(徹)、石塚(敬)、今村、小林(み)、千葉、藤田

見どころ：今回はルリビタキ・キクイタダキなど 33 種。自然保護ゾーンを中心にゆっくり“気長に” 冬鳥たちを観察しましょう。

帰りのバス：下車したバス停から 12:07 発(大宮駅)、12:14 発(西大宮駅)。

東京都・浮間公園探鳥会

期日：2月17日（木）平日 要予約

集合：午前10時、JR 埼京線 浮間舟渡駅前。

解散：正午ころ、現地で。

募集人数：20 名

担当：小林(み)、浅見(健)、石塚(敬)、今村、藤田

見どころ：駅前の公園に広がる池でカモ・ウオッチング。鳥との距離が近いビギナー・ファーストの探鳥地です。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月19日（土） 要予約

集合：午前7時50分、丸山公園南口入口付近。

解散：11時ころ、集合地付近で。

交通：JR 高崎線 上尾駅西口③番バス乗り場

から尾 32 西上尾第二団地経由リハビリセ

ンター行 7:26 発で「丸山公園入口」下車、徒歩約4分。

募集人数：20 名

担当：近藤、秋葉、浅見(健)、浅見(徹)、千葉、吉原(早)

注意：帰りは下車したバス停から 11:50 発。

期日：2月20日（日） 要予約

交通:JR 北浦和駅東口バスターミナルから東武バス「さいたま市立病院行」8:21 発で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

見どころ：冬鳥が渡りの準備を始めます。お別れ前に逢いに行きませんか？ 風が強くなければ、芝川沿いを中心に歩きます。

期日：2月26日(土) 要予約

解散：正午ころ、集合地で。

交通：東武アーバンパーク線 岩槻駅東口から
朝日バスしらこぼと水上公園行き 8:43 発で
「村国入口」下車。バス停からご案内しま
す。

担当：長野、石川、鈴木(紀)、鈴木(庸)、長嶋

見どころ：トイレが完備された公園内や平坦な元荒川沿いの道をゆっくり歩いて林、水辺、ヨシ原の鳥たちを観察しましょう。

注意:岩槻駅での案内人の出迎えはありません。

期日：2月27日（日） 要予約

交通：西武新宿線 狭山市駅西口から、西武バス智光山公園行き 8:40 発で終点下車。

担当：石光、小林(ま)、佐藤(久)、暁、山本(真)

見どころ：林あり池あり清流ありと好適な環



オンライン会議システムを使った野鳥フォーラムを開催しています。スマホやパソコンを使ってリモートで参加できます。当会ホームページから参加申込をしてください。今後の開催予定など、詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.wbs.j-saitama.org/onlineforum/>

(公財) 日本野鳥の会からのお知らせ

会員向けイベント情報をメールでお知らせします

(公財)日本野鳥の会では、会員の皆様を対象に、活動を紹介するセミナーなどのオンラインイベントの開催を予定しています(不定期開催)。イベントの詳細が決まりましたら、メールでお知らせしますので、イベントの情報をご希望の方は、以下の方法でメールアドレスをお知らせください。

◆方法：スマートフォンなどで、QRコードを使って専用申込フォームに接続し、必要事項をお知らせください。

または、メール event@wbsj.org 宛に、
件名に「会員メール登録」とご入力の上、「お
名前、ご住所、会員番号、メールアドレス」
をお知らせください。

◆お問い合わせ：

(公財) 日本野鳥の会
普及教育グループ

メール event@wbsj.org

電話 03-5436-2622 (平日
の火・木 13～15 時)





新型コロナウイルス感染拡大で中止。(浅見 徹)

新型コロナウイルス感染拡大で中止。(山部直喜)

新型コロナウイルス感染拡大で中止。(長谷部謙二)

新型コロナウイルス感染拡大で中止。(吉原俊雄)

新型コロナウイルス感染拡大で中止。(大井智弘)

雨のため中止。(青木正俊)

調査部

② 会のウェブサイトにあるA4サイズの調査票に記載して、メール添付または郵送で報告

-



連絡帳

●見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会

当会から参加した浅見徹幹事の報告です。

日時:2021 年 10 月 22 日(金)10:00~11:30

場所:さぎ山記念館 学習室

参加者:会員団体から 10 名、市の事務局担当者等、合計 18 名

議題等

- 1, 新規加入登録申請報告:「みぬまサウルス企画事務所」(代表者:小林みどり)。事務局から資料の説明があり、登録手続きを進めることになりました。
- 2, シーズン企画について:コロナのせいで相変わらず低調。結果報告 1 件、計画 4 件のみ。
- 3, 「私の好きな見沼たんぼ 2021」写真コンクール実施結果について:応募総数 116 点。会議後、一次審査を行いました。例年通り、副賞賞品の提供依頼がありました。当会からの副賞提供について、11 月の役員会に上程します。
- 4, 例年 11 月初めに行われていた「みぬま秋フェス」は、コロナ禍により中止と決まり、これに代わる PR 企画についての提案が事務局からありました。
提案 (1) 「さぎ山記念館」エントランス・ギャラリーなどへの会員団体の PR ディスプレイ
提案 (2) バーチャルコンテンツの立ち上げ(仮想空間で会員団体の PR ディスプレイ)
- 5, その他

●会員数は

11 月 1 日現在 1,453 人です。

活動報告

9 月 2 日(木)~4 日(土)、役員会 ML による役員会を開催。山部直喜代表・海老原美夫副代表・小林みどり副代表 3 名共同で上程した【議案第 1 号】楠見邦博監事の退任、青木正俊監事の留任、榎本秀和監事の新任を承認した。

9 月 6 日(月)、『しらこぼと』9-10 月合併号入稿。

9 月 10 日(金)、9-10 月合併号埼玉事務局発送分納品。

9 月 11 日(土)、9-10 月合併号を『野鳥』誌と同封発送しない会員に向けて袋詰め作業後、さいたま中央郵便局から発送(海老原教子、海老原美夫、山部直喜)。

10 月 19 日(火)~22 日(金)、役員会 ML による役員会を開催。長野普及部長から上程された【議案第 1 号】2022 年 1-2 月探鳥会計画を承認した。

10 月 24 日(日)~26 日(火)、役員会 ML による役員会を開催。【議案第 1 号】令和 1・2 年度決算を会報に掲載することを承認した。

編集後記

昨年からはまったコロナ禍でステイホームを守りながらの不自由な生活もあったという間に 2 年近くが過ぎ、時の流れのはやさを感じる。

国境を超えるのが難しくなり国の中に閉じ込められている人間とはちがい、今年も北の国から近くの川にやってきたカモたちは密になって生活を楽しんでいるようだ。(山口)

しらこぼと 2021 年 11・12 月合併号(第 449 号)定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26

番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyoumu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635

〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。

印刷 関東図書株式会社